

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第 11 巻第 28 号

第 28 週( 7月11日 ~ 7月17日)

発行年月日:平成23年(2011年) 7月21日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

**ヘルパンギーナの警報を発令**  
**咽頭結膜熱(プール熱)および手足口病の警報、発令中**  
**腸管出血性大腸菌感染症多発警報は解除**

#### 一類～五類全数報告感染症の発生状況(第28週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 10名**
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---報告はありません

**腸管出血性大腸菌感染症の発生については、県は7月11日(月)に、本年度第5回目の警報を発令(発令期間:7月11日(月)～7月17日(日))していましたが、7月17日(日)に解除しました。**

今後も引き続き感染予防に対する注意(手洗いを十分にする。食肉の加熱時には、食品の中心温度を75℃1分以上加熱する。食肉を生で食べないようにする。患者からの二次感染に気をつける等)が必要です。

#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(899名)より大幅に増加し、今週は1,179名となっています。今週増加した疾患は感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ等で、特に手足口病およびヘルパンギーナで急増しています。減少した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、伝染性紅斑(リンゴ病)等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

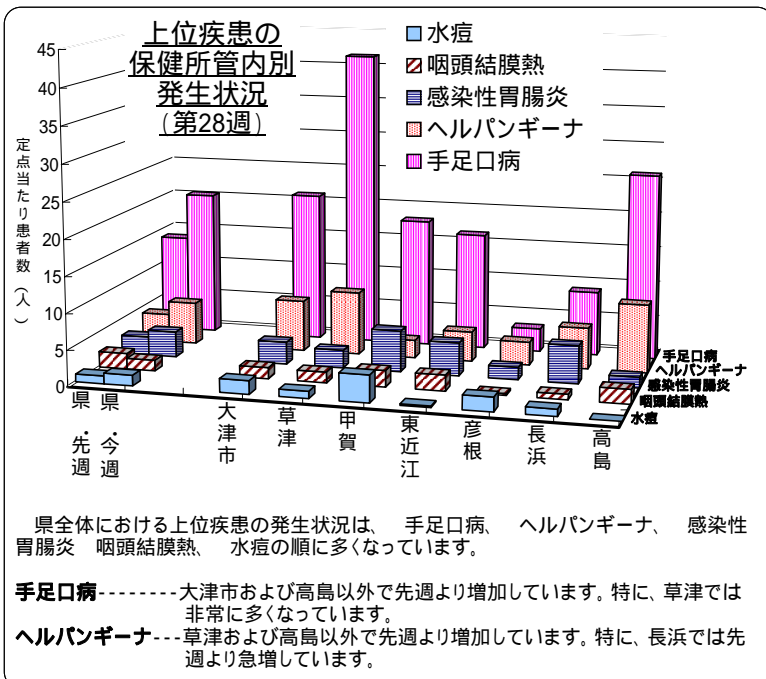
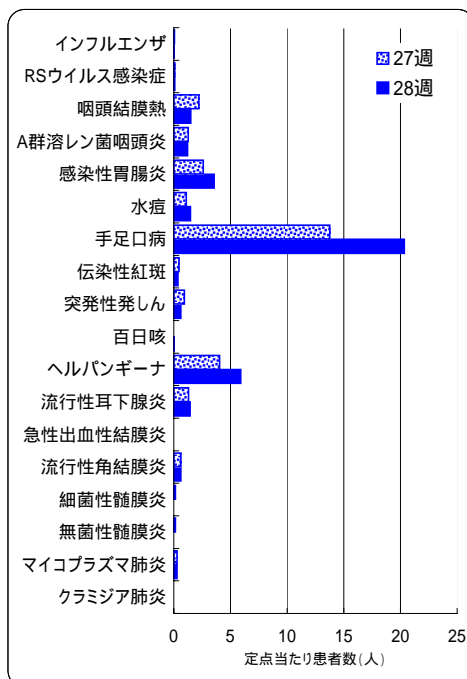
また、ヘルパンギーナについては、「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システムによる情報提供要領」における警報発令基準(\*)に該当したため、県は平成23年7月21日(木)に、県内全域に**ヘルパンギーナの警報**を発令しました。

(\*) : 警報開始基準値(定点当たり患者数 6.00人)を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合

さらに、咽頭結膜熱では第24週(6/13～6/19)以降、手足口病では第26週(6/27～7/3)以降、引き続き県内全域に警報が発令されています。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警報----	咽頭結膜熱(プール熱)	(警報開始基準値 3.00、警報終息基準値 1.00)	大津市、草津、東近江、高島保健所管内
	手足口病	(警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00)	大津市、草津、甲賀、東近江、長浜、高島保健所管内
	ヘルパンギーナ	(警報開始基準値 6.00、警報終息基準値 2.00)	大津市、草津、高島保健所管内



県全体における上位疾患の発生状況は、手足口病、ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、水痘の順に多くなっています。

**手足口病**-----大津市および高島以外で先週より増加しています。特に、草津では非常に多くなっています。

**ヘルパンギーナ**---草津および高島以外で先週より増加しています。特に、長浜では先週より急増しています。

# 1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 <sup>(*)1</sup>		平成21年 累積報告数 <sup>(*)2</sup>	
		滋賀 (28週)	全 国 <sup>(*)3</sup> (27週注)	滋賀	全 国 <sup>(*)3</sup>	滋賀	全 国 <sup>(*)3</sup>
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	176	14,947	251	26,704	256	26,996
三 類 感 染 症	コレラ	0	2	0	10 <sup>**</sup>	1	16
	細菌性赤痢	2	103	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	19	1,296	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	13	1	21	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	37	0	66	1	56
	A型肝炎	0	131	3	346	0	115
	オウム病	0	9	1	11	0	21
	つつが虫病	0	152	2	406	0	465
	デング熱	1	45	2	245	0	93
	マラリア	0	31	0	76	0	56
	レジオネラ症	8	329	10	751	8	717
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	2	397	7	845	10	786
	ウイルス性肝炎	1	135	3	222	3	223
	急性脳炎	1	173	0 <sup>**</sup>	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	59	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	126	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	2	725	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	0	35	1	80	0	70
	梅毒	3	379	9	621	3	691
	破傷風	1	57	0	106	3	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	29	2	121	0	116
	風しん	2	242	5	89	2	147
	麻疹	1	353	1	455	7	732
	新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) <sup>(*)4</sup>	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	8	13	0	59	0	34

\*\*：平成22年分の最終確認の結果、急性脳炎(滋賀)1 0、コレラ(全国)11 10に訂正しました。

注：28週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

\*1：感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

\*2：感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

\*3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

\*4：感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間：平成21年7月24日～8月24日)。

# 2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。  
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

## (1)疾病別・週別発生状況(平成23年第23週～28週、6/6～7/17)

定点区分	定点 数	疾 患 名	定点当たり患者数 ( 前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
			23週	24週	25週	26週	27週	28週	週				
			6/6～	6/13～	6/20～	6/27～	7/4～	7/11～	24	25	26	27	28
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.49	0.32	0.13	0.19	0.06	0.04					
小児科	32	RSウイルス感染症	0	0.13	0.03	0	0.09	0.09					
		咽頭結膜熱(プール熱)	2.84	2.97	2.97	2.38	2.19	1.50					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.31	2.53	2.44	1.34	1.28	1.22					
		感染性胃腸炎	5.19	4.94	4.97	3.06	2.59	3.56					
		水痘	2.41	2.31	2.25	2.47	1.09	1.47					
		手足口病	1.00	1.53	3.91	7.66	13.75	20.34					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.81	0.44	0.94	0.38	0.44	0.38					
		突発性発しん	0.56	1.00	0.53	0.47	0.94	0.63					
		百日咳	0.06	0	0	0	0	0.03					
		ヘルパンギーナ	0.88	0.81	0.75	1.53	4.03	5.91					
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.56	1.22	1.41	0.88	1.31	1.44					
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
		流行性角結膜炎	0.13	1.00	0.25	1.25	0.63	0.63					
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0.14	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0					
		マイコプラズマ肺炎	0.14	0	1.00	0.57	0.29	0.29					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

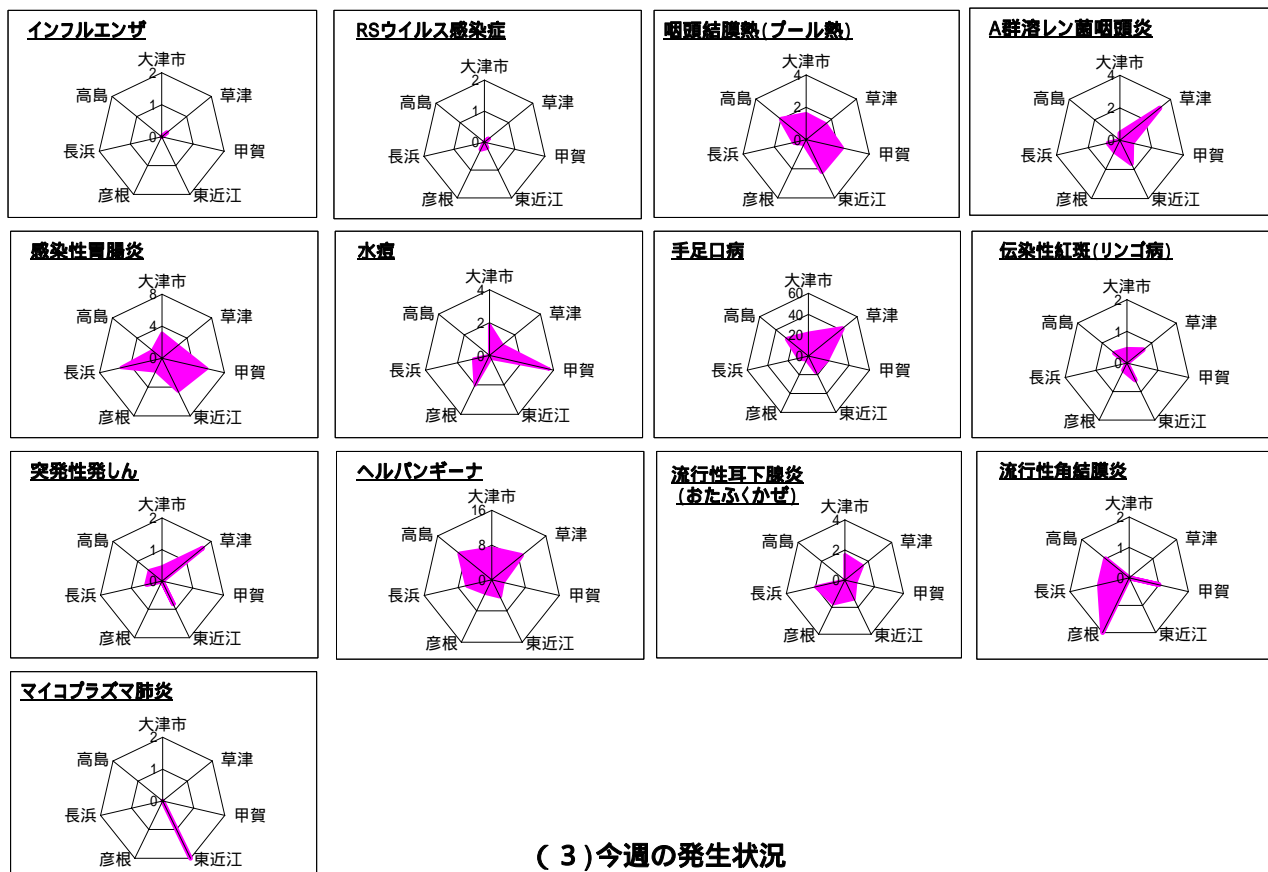
## (2)疾病別・保健所管内別発生状況(第28週、7/11～7/18)

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)				
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島					
インフルエンザ	0.04	0	0.20	0	0	0	0	0					
RSウイルス感染症	0.09	0	0.17	0	0.20	0.25	0	0					
咽頭結膜熱(プール熱)	1.50	1.57	1.50	2.25	2.20	0.25	0.75	2.00					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.22	0.43	3.17	0.75	1.60	0.75	0.75	0					
感染性胃腸炎	3.56	3.14	2.50	5.75	4.60	1.75	5.25	1.50					
水痘	1.47	1.86	1.00	3.75	0.20	2.00	1.00	0					
手足口病	20.34	21.00	41.50	18.00	16.40	3.25	9.00	26.00					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.38	0.43	0.67	0	0.60	0.25	0	0.50					
突発性発しん	0.63	0.43	1.67	0	0.80	0	0.50	0.50					
百日咳	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0					
ヘルパンギーナ	5.91	7.14	8.83	2.50	4.20	3.25	5.75	9.50					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.44	1.71	1.50	0.75	1.40	1.75	2.00	0					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.63	0	0	1.00	0	2.00	1.00	1.00					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	2.00	0	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0					

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。  
 青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 5 10 15 20 25  
 定点当たり患者数(人)

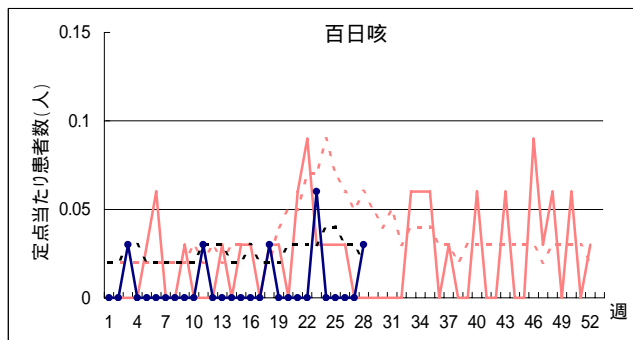
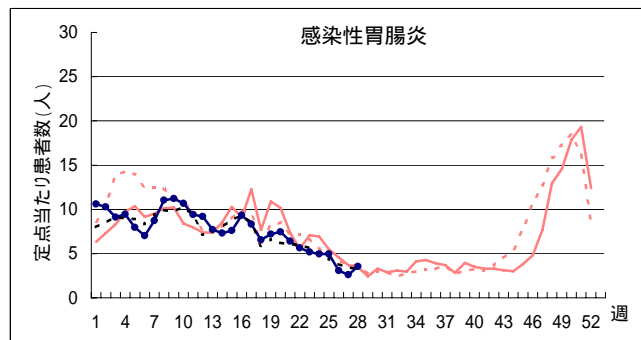
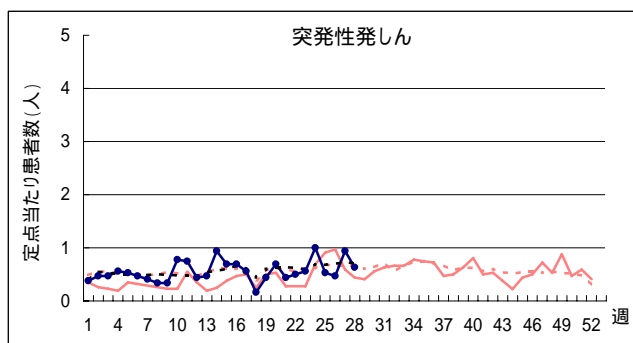
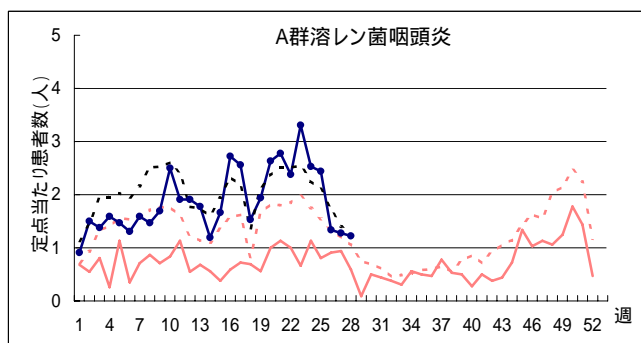
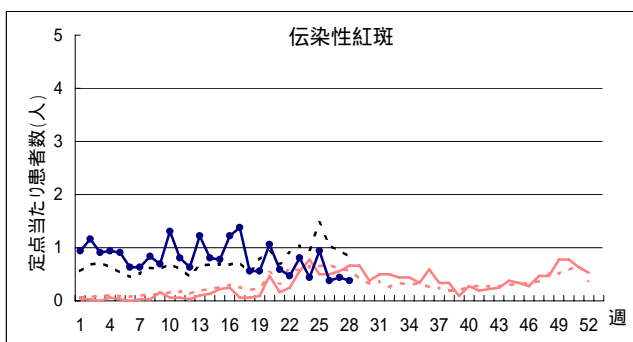
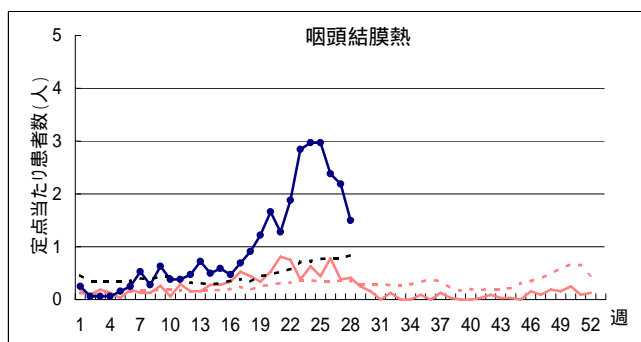
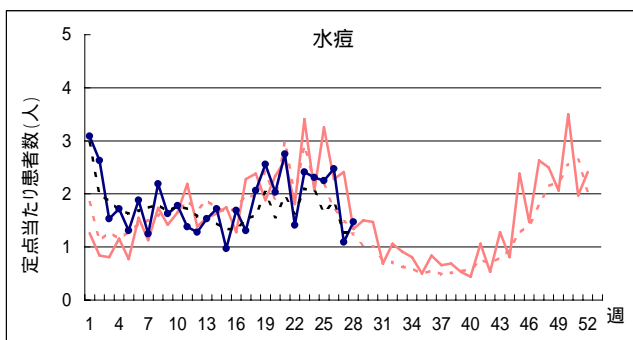
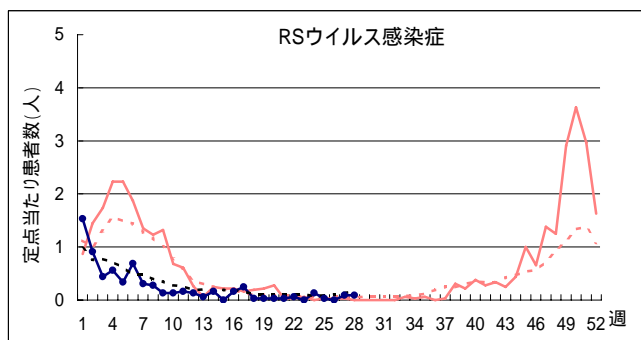
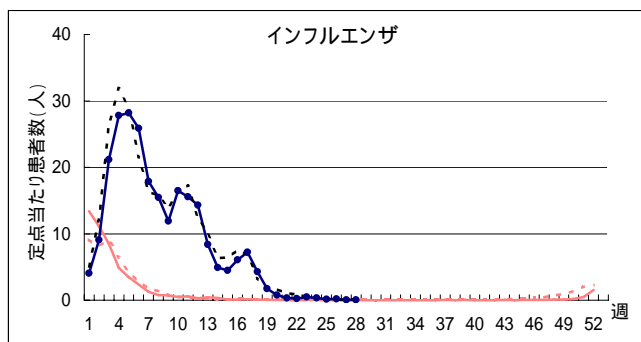
## 疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



## (3)今週の発生状況

- インフルエンザ----- 定点当たり患者数は先週に引き続き減少し、0.04となっています。インフルエンザの発生は終息したと考えられます。
- 咽頭結膜熱----- 県全体では先週より減少していますが、甲賀および長浜では先週より微増となっています。
- 感染性胃腸炎----- 甲賀、東近江、彦根および長浜保健所管内で先週より増加しています。特に、長浜で急増しています。
- 水痘----- 大津市および甲賀保健所管内で先週より急増しています。年齢群別では、1～2歳で多くなっています。
- 手足口病----- 彦根保健所以外で警報発生基準値を超えています。年齢群別では、1～4歳で多くなっています。1歳で全体の30%、2歳で全体の20%、3歳で全体の14%、4歳で全体の11%を占めています。
- ヘルパンギーナ----- 年齢群別では、11ヶ月～3歳で全体の約70%を占めています。
- マイコプラズマ肺炎----- 第25～28週(6/13～7/17)の報告数が増加しています。特に、大津市および東近江保健所管内からの報告が多くなっています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1 ~ 28 週、H23.1.3 ~ H23.7.17)



# 疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1 ~ 28 週、H23.1.3 ~ H23.7.17)

